

スポーツ庁委託事業

令和6年度

長崎県令和の日本型学校体育構築支援事業

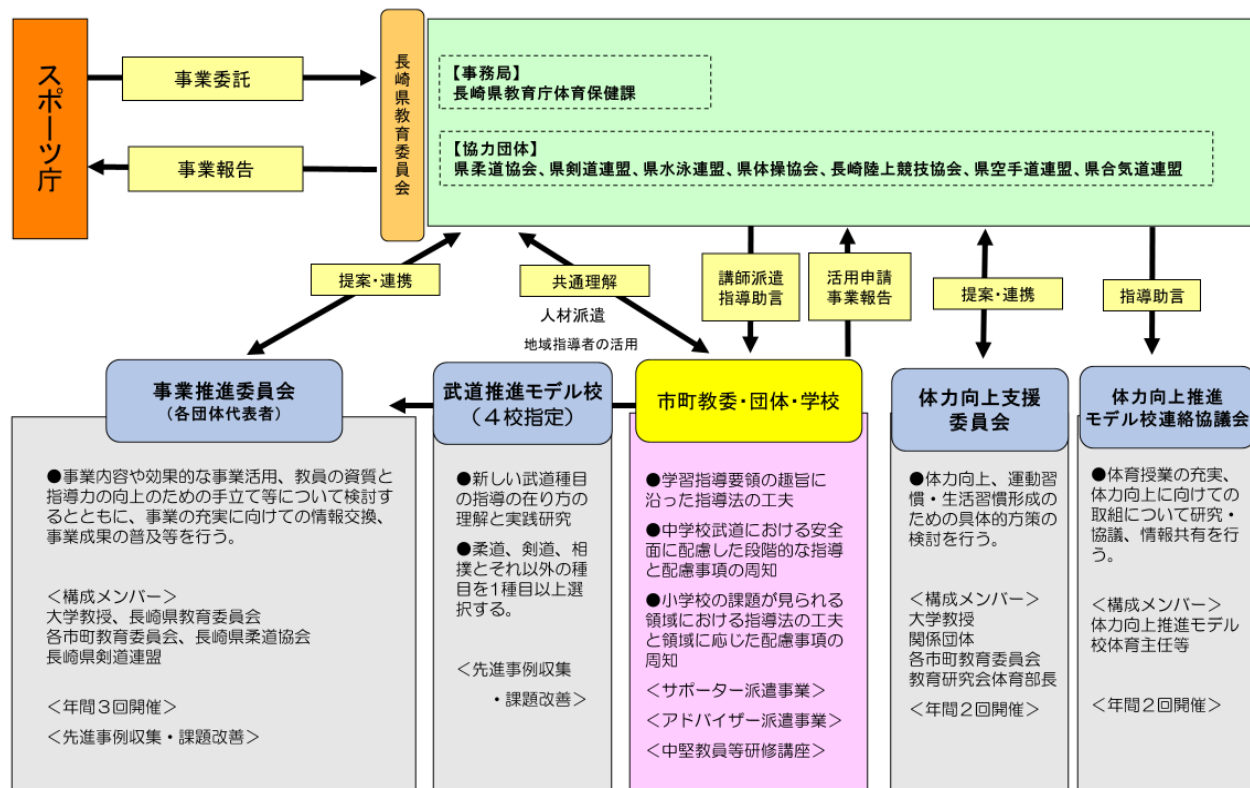
事業報告書

長崎県教育委員会

事業の目的

長崎県における指導の充実及び教員の資質と指導力の向上を図ることを目的としています。主に中学校武道における発達の段階に応じた安全面に配慮した学習指導の展開と、小学校教員で指導に不安を感じる等の課題が見られる領域について、教員の指導力の向上を図る。

研究組織



実施体制

事業推進委員会

大学教授、各市町教育委員会学校体育主管課担当者、関係競技団体代表者等からなる推進委員会を設置し、事業内容や効果的な事業等について検討するとともに、事業の充実に向けた情報交換を行う。

- 第1回 7月12日(金) 県庁会議室
「事業のねらいと取組について」
- 第2回 11月29日(金) 県庁会議室
「武道推進モデル校VTR視聴 空手道」
「事業進捗状況報告」
「来年度事業について」
- 第3回 2月5日(水) 県庁会議室
(オンライン開催)
「事業報告及び次年度へ向けて」



事業内容（実践事例）

1 実技指導者研修会

指導に不安を感じている教員の指導力向上や資質向上を図る。専門性の高い大学教授等を招聘し、学習指導要領に基づいた安全面に配慮した段階的な指導法について講義と実技を行う。

【柔道】10月24日（木）佐世保市立江迎中学校 講師 全日本柔道連盟 普及部長 田中 裕之 氏
【ダンス】12月6日（金）島原復興アリーナ 講師 鹿屋体育大学 准教授 梶 ちか子 氏

【受講者の声】

柔道に私自身が自信がなく、今回参加しました。
段階的な指導を意識するものの、焦ってしまい次に進むこともあったので、楽しく行うための引き出しができて指導に活かそうと思いました。苦手だからこそ子どもの気持ちになって受講できたので、とても有意義でした。



2 指導力向上研修会

課題のみられる領域の研修を行い、指導力向上を図る。

・指導力向上セミナーⅠ「小学校の体育授業づくり」

8月22日（木）講師 東京学芸大学 副学長 鈴木 聡 氏

・指導力向上セミナーⅡ「中学校・高等学校 体育の授業づくり」

10月24日（木）講師 筑波大学 准教授 三田部 勇 氏



【受講者の声】（一部抜粋）

高等学校から小学校へ視点を変えて取り組んでいると、今まで気づかなかったことや改めて大切だなと思うことが確認できて良い研修会となり参加して、とても良かったです。

3 体育学習サポーター派遣

（中学校の武道、ダンス・小学校の課題が見られる領域の授業協力）

武道、ダンス及び課題が見られる領域について、地域指導者（退職保健体育教員や競技団体指導者等）を学校の希望により小学校・中学校の体育授業へ派遣し、教員（T1）の計画に基づきT2として運動の示範、安全面に配慮した段階的な指導方法を用いた支援・運動の技能のポイントやコツの例示を行うことで、教員の資質向上・指導力強化を図る。

派遣時間：316時間

小学校：265時間

中学校：51時間

小学校：課題が見られる領域

・器械運動 20校

・水泳 21校

・陸上運動 5校

計 46校

中学校：武道及びダンス

・柔道 2校

・剣道（防具のみ含む）

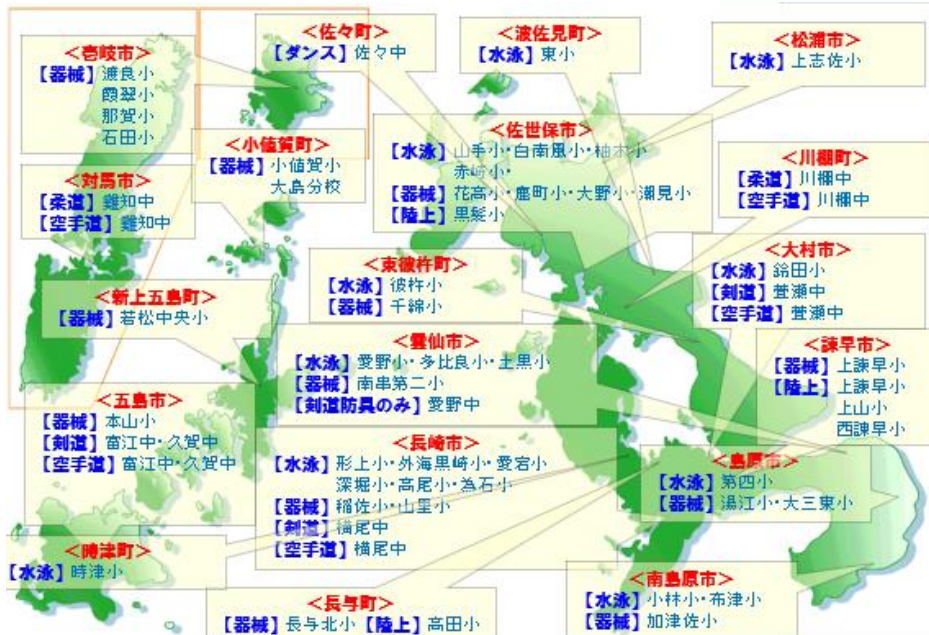
5校

・空手道 6校

・ダンス 1校

計 14校

合計 60校



4 中堅教員等研修講座（各地区におけるミドルリーダーの育成）

各市町教育委員会指導主事及び郡市研究部会代表者を各学校、各地区における保健体育科指導のミドルリーダーとして育成することで、体育学習の活性化、教員の資質向上・指導力強化を図る。

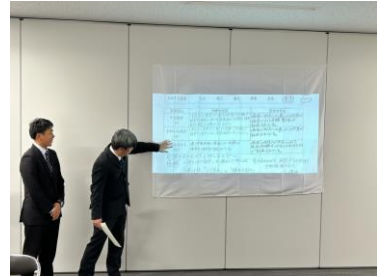
※ 受講者18名

日時 11月22日（金）

会場 県庁会議室

講師 日本女子体育大学 教授 高橋 修一 氏

内容 講義及び質疑応答 「学習指導要領に基づいた授業づくりについて」



【受講者の声】

指導要領解説の裏にあるものを知ることができ、もっと解説を読み込む必要があると感じました。思考・判断・表現の評価が難しいと感じていたので、学習カードの工夫の仕方を学ぶことができ、今後の授業改善に役立てていきたいと思います。

5 武道推進モデル校指定校研究

複数の武道種目を行う「武道推進モデル校」を4校指定し、生徒がより多様な武道種目に触れる授業の実践研究を行い、課題を明らかにして、その改善に向けた方策を検討する。柔道、剣道、相撲とそれ以外の種目を1種目以上選択し、研究を図る。

- | | | | |
|--------------|-----------|-------|-------------------------|
| ・長崎市立戸町中学校 | 合気道（12時間） | 外部指導者 | 合気道悠歩塾 代表 磯部 三男 氏 |
| ・長崎市立淵中学校 | 空手道（10時間） | 〃 | 日本空手道連合会九州地区協議会 中平 良一 氏 |
| ・佐世保市立大野中学校 | 空手道（12時間） | 〃 | 日本空手道朋城会 館長 張原 啓吾 氏 |
| ・佐世保市立小佐々中学校 | 空手道（12時間） | 〃 | 日本空手道朋城会 館長 張原 啓吾 氏 |



6 体育学習アドバイザー派遣

各市町教育委員会及び各郡市町の教育研究会体育・保健体育部会主催の研修会について、主に県教育委員会指導主事や大学教授等を派遣し、学習指導要領に基づき、内容の周知及び活用の促進を図る。

佐世保市小学校教育研究会体育部会	大村市教育研究会体育部会
平戸市教育研究会小学校体育部会	松浦市教育研究会小学校体育部会
対馬市小学校教育研究会体育部会	壱岐市小中学校教育研究会保健体育部会
西海市教育研究会体育部会	新上五島町中学校教育研究会保健体育部会

【実施団体の感想】（一部抜粋）

器械運動（跳び箱）の研究授業から、場の設定の工夫や安全面について学ぶことができた。指導助言では、良い体育の授業を5つの観点「楽しさ・学びの自覚・学習雰囲気・運動時間の確保・安全の確保」について学び、今後の授業づくりに生かしたいと思った。また、学年における系統を確認し、段階的に学習を進めることが重要だと再確認できたので、それぞれの学年の先生に伝達をして、共通理解を図りたいと思う。



7 体力向上支援委員会

専門的な知見を有する大学教授や関係団体、市町教育委員会指導主事、市町教育研究会体育部長からなる体力向上支援委員会を設置し、子供の体力の向上を図るため、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の詳細な分析を行うとともに、子供の体力の向上や運動習慣、生活習慣の改善等に資する具体的方策を検討する。

講師 熊本大学教育学部 准教授 末永 祐介 氏

第1回 11月26日（火）長崎市立大浦小学校

「体力向上に向けた取組について」

第2回 1月28日（火）県庁会議室

「学校と家庭・地域が連携した子どもの体力向上」



8 体力向上推進モデル校連絡協議会

長崎県教育委員会体力向上推進モデル校の小学校体育教科担任等に対して、学習指導要領の趣旨の再確認と全国・本県児童の体力の現状や課題をもとに、体育授業の充実を図ることや、自校の体力向上を図るための具体的な方策について研究・協議することで、効果的な実践を図る。

第1回 8月22日（木）シーハット大村

実技「小学校の体育授業づくり」

第2回 10月24日（木）県立総合体育館

実技「中学校・高等学校の体育の授業づくり」



9 親子体力向上実践セミナー

離島地域の市町教育委員会の所管する開催校または開催校PTA主催のセミナーに子供の教育についての深い理解とスポーツに関する専門的な知識や指導技能を有した講師を派遣し、学校・保護者・地域の連携によって、今後の子供たちの体力向上や望ましい生活習慣の形成を目指す。

吉崎市立霞翠小学校

対馬市立美津島北部小学校



成果と課題

(1) 成果

- 事業推進委員会において、本県の課題を明らかにし、次年度に向けての方向性を示すことができた。
- 実技指導者研修会（柔道、ダンス）、指導力向上研修会（小・中・高）を計4回開催した。今年度は系統性を重視する観点から、参加対象者を拡大し幼稚園・保育園・認定こども園等教職員も参加していただいた。
- アドバイザー派遣事業において、学習指導要領に対応した授業づくり等について、各地区部会のニーズに応じて指導・助言を行い、理解を深めることができた。また、今年度も離島部での実技講習会を行うことができた。
- サポーター活用において、前年度よりも多くの学校に派遣をすることができた。
- 中堅教員等研修講座においては、評価（思考・判断・表現）について理解を深めることができた。
- 体力向上支援委員会では、長崎県の課題解決に向けた新たな取組や体育授業の改善について、検討することができた。

(2) 課題と今後に向けて

- 事業を行う際にターゲットを明確にした取組を行うことで、事業活用の促進を今以上に図りたい。
- 長崎県における武道指導の充実及び教員の資質と指導力の向上をさらに図るため新規事業を立ち上げたい。
- 体力向上に向けて運動を行うことの楽しさとともに運動を行う価値の大切さも伝えていきたい。